

【0113a】セツキシマブ+mFOLFOX6 療法【初回】

※2 コース目以降は「大腸 12 セツキシマブ+mFOLFOX6 療法」を使用してください

【投与スケジュール】1 コース=14 日

1 コース

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W
セツキシマブ	アービタックス	Cmab	初回 400mg/m ²	↓ Day1	
			2 回目以降 250mg/m ²		↓ Day8
オキサリプラチン	エルプラット	L-OHP	85mg/m ²	↓ Day1	
レボホリナートカルシウム	レボホリナート	I-LV	200mg/m ²	↓ Day1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	400mg/m ²	↓ Day1	
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	2400mg/m ²	↓ Day1	

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day1			
①	ネオレスタール注 10mg	1 本	30 分
	デカドロン 3.3mg/1mL	3 本	
	グラニセトロンバッグ 3mg/100mL	1 本	
②	アービタックス	400mg/m ²	120 分
	生理食塩液 500mL	400mL	
③	生理食塩液 100mL	1 本	60 分
④	レボホリナート	200mg/m ²	(同時に) 2 時間
	5%ブドウ糖液 250mL	1 本	
④	エルプラット	85mg/m ²	
	5%ブドウ糖液 250mL	1 本	
⑤	フルオロウラシル	400mg/m ²	全開で
	生理食塩液 50mL	1 本	
⑥	フルオロウラシル	2400mg/m ²	46 時間
	生理食塩液	適量(※)	
⑦	生食注シリンジ 10mL	1 本	フラッシュ

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day8			
①	ネオレスタール注 10mg	1本	15分
	デカドロン 3.3mg	1本	
	生理食塩液 50mL	1本	
②	アービタックス	250mg/m ²	60分
	生理食塩液 250mL	1本	
③	生理食塩液 100mL	1本	60分

催吐性	中等度リスク
組織傷害性	アービタックス: 非炎症性 エルプラット: 炎症性 フルオロウラシル: 炎症性
代表的副作用	アービタックス >10%・・・皮疹、皮膚乾燥、掻痒、爪囲炎、口内炎、疲労、食欲不振、低 Mg 血症、 Infusion Reaction エルプラット >10%・・・悪心、嘔吐、末梢神経障害、感覚異常、疲労、骨髄抑制 1~10%・・・アレルギー反応 フルオロウラシル >10%・・・食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明・・・心筋虚血、白質脳症

【注意事項】

- レボホリナートとエルプラットは同時に滴下する

(アービタックス)

- RAS 遺伝子野生型を確認すること
- infusion reaction** を軽減させるため、投与前に抗ヒスタミン剤の前投薬を行うこと。さらに投与前に副腎皮質ホルモン剤を投与すると **infusion reaction** が軽減することがある
- 投与量と速度: 初回は 400mg/m² を 2 時間かけて、2 回目以降は 250mg/m² を 1 時間かけて点滴投与する(10mg/分以下)
- 終了後はラインを生理食塩液でフラッシュすること
- 投与中は毎回患者の状態に十分に注意し、投与後は1時間の観察期間を設けること

(エルプラット)

- 塩化物を含む輸液との配合を避ける(溶解液は 5%ブドウ糖液のみ可)
- 塩基性溶液との混和もしくは同じ点滴ラインを用いた同時投与は行わないこと